



**期間** 令和7年7月4日(金)～令和7年8月1日(金) [全5回]

**実施場所** 九州国際大学(平野キャンパス)  
〒805-8512 八幡東区平野1-6-1 (36ページアクセス参照)

**申込・問合せ先** 九州国際大学地域連携センター  
〒805-8512 八幡東区平野1-6-1  
TEL:671-8936 FAX:671-8939

**時間** 18:30～20:30

応募締切

**6月20日(金)**

スマートフォンからも  
お申込みできます▶



**定員** 30名

**受講料** 4,000円

受講生への  
メッセージ

実施機関：九州国際大学地域連携センター

2025年は、1945年敗戦から「戦後80年」、と同時に1926年の「わずか1週間の昭和元年」から「昭和100年」。このことが私たちに何を問いかけるか。主要な論調を整理し、共に考えていきます。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	7/4 (金)	<b>はじめに：100年の時期区分と課題設定</b> 昭和100年の時期区分と政府の取り組みおよびマスコミの取り上げを通して、どのように考えるかの課題設定をします。	九州国際大学 名誉教授 <b>清水 憲一</b> 1948年島根県生。 戦後をほぼ生きている こととなります。
2	7/11 (金)	<b>「さきの戦争」をめぐる諸論点</b> 「さきの戦争」の名称、東京裁判(戦争責任など)、戦後処理などの諸論点を整理します。	
3	7/18 (金)	<b>昭和史探偵・半藤一利から</b> 昭和史4部作から、故半藤氏の昭和史の要点を整理し、多くの読者を得ている理由を検討します。	
4	7/25 (金)	<b>かくも長き「戦後」</b> 日本では、なぜ「戦後」が終わらないのか。波多野澄雄『日本の歴史問題』、加藤典洋の「戦後後論」などで検討します。	
5	8/1 (金)	<b>戦後的価値の来し方・行方</b> 「平和と民主主義」を戦後的価値ととらえ、この来歴と現状の揺らぎを整理します。	

スポット受講  
詳細は2ページ  
料金  
1,000円/回  
1回限り